

平成30年度 OJT 研修 摂食指導研修会

健康教育部学校給食係

日時：平成30年6月4日（火）15:45～16:45

講師：福島県総合療育センター耳鼻咽喉科医師 鈴木 雪恵先生

演題：「嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害の対応」

OJT 研修とは、専門の知識を持つ教職員または外部講師による講話の聴講や話し合いの中で、学び合い、知識や技能について高め合うことを目的とした校内研修会です。今回のOJT 研修会は、鈴木雪恵先生のご厚意によりご講義をいただきました。普段給食指導を行っている教職員にとって大変役立つ講義でした。この研修会で学んだことを教職員で共通理解を図り、「より安全でおいしく楽しい食事」を目指していききたいと思います。

＜講義の内容＞

- 摂食嚥下のしくみについて
 - 摂食嚥下障害の症状とリスクについて（誤嚥性肺炎、窒息など）
 - 摂食嚥下障害に対する具体的な対応
 - ・栄養摂取の方法（経管、胃ろうなど）
 - ・咀嚼障害への対応
 - トロミ調整食品とトロミのつけ方について
- [食形態の調整、刻む、トロミをつける、姿勢の調整、食具の工夫
嚥下体操、口腔ケアなど]

今回は、本校職員（教員、栄養士等）を対象とした研修で、46名が聴講しました。



＜職員感想から＞

- 口に入れ、噛み、飲み込むまでの口の動きやメカニズムを理解すると、児童生徒の摂食指導の際根拠を持って行うことができ、また、保護者にも話すことができるので、今後も研修を行っていききたいと思います。
- 専門的な話を聞き、嚥下障害の危険を再認識しました。
- トロミ調整食品の利点や注意点、嚥下の状態により調整や対応が必要なことなどを知ることができ、食事の介助の際には、介助する側の姿勢も注意しようと思いました。
- 児童生徒の食後の歯みがき指導を、徹底して行おうと思いました。